

白石地区 地域づくり 協議会だより

白石地区地域づくり協議会

〒753-0046
山口市本町1-1-25
白石地域交流センター内
TEL 083-941-5959
FAX 083-941-5966
<http://www.y-shiraishi.net/>
携帯・スマホからは上のQRコードでアクセス!



※写真(撮影/中村誠)

2019年3月1日号 Vol.68

3月23日「SLやまぐち号」運行スタート!!



着ぐるみたちが
山口駅に大集合♪

●駅コンサート

- ・フォークソング(トワイライト・フォー)
- ・よさこい(よさこい平川組)

●着ぐるみと 一緒に手振り

あつまれ!
ちびっこ♪

白石地区のみなさん!!
午前10:30に山口駅に集合!!

来場の皆様へ
プレゼント!!
(失着80名様)

SLに向かって手を振ろう
山口駅11:11着▶11:13発

3月の運行予定日						
日	月	火	水	木	金	土
						1 2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

※○は運行日
11時過ぎと17時過ぎに白石地区内を通過します

グラウンドゴルフ新入会員募集!! 初心者大歓迎

地域住民の健康増進および住民同士の絆や連帯感を育むコミュニケーションの場として、グラウンドゴルフ新入会員を募集します。道具は用意していますので運動のできる服装でお時間のある時にお越し下さい。皆様のお越しをお待ちしております。

練習日時：毎週水曜日 9:00～

練習場所：亀山ふれあい公園

申込先：白石地区地域づくり協議会(TEL 941-5959)



第3回 明治維新史跡めぐりウォークを開催しました

2月2日(土)寒空の下、塩見興一郎さんの解説で史跡巡りウォークの最終回が実施されました。静謐な毛利家墓所、賑やかな商店街にある山田家本陣跡など様々な史跡を実際に見聞することができました。



発災実動訓練を実施しました

2月3日(日)白石地区の認定自主防災士(21名)と5町内会(荒高・新道・西門前新橋・中讃井・上清水)が参加して、震度6強の地震発生を想定した発災実動訓練を開催しました。玄関先に黄色

いタスキを掲げて安否を知らせる訓練では306世帯のうち244世帯が参加しました。(参加率79.7%)



力を合わせて
避難

黄色のタスキで
安否確認

白石地域防災イベントを開催しました

白石地域交流センター主催で防災イベントを開催しました。日本防災士会山口県支部の幸坂先生による「避難の決断時」の防災教室のあと、新聞紙スリッパがれき体験、紙芝居「津波だ!いなむらの火をけすな」、防災クイズに参加し防災の意識を高めました。



紙芝居で
防災意識向上

がれきを
踏んでみよう

新聞紙
スリッパ

チャレンジ健康づくり講座 白石すっきりボディを目指す会 の修了式を行いました!!

2月9日(土)、平成30年度参加者(第4期生)の修了式を行い、修了証を授与しました。グループごとに分かれ、これまでの成果を振り返る中で、「正しい歩き方が分かり腰の調子がいい」「歩くことを意識するのはとてもいいキッカケになった」「仲間と一緒に活動することで頑張れた」などの意見が交わされ、笑顔溢れる修了式となりました。



すっきり
修了!



平成31年度も「チャレンジ健康づくり講座」を開催します。9月～2月まで全7回の講座です。これまで参加されていない方のご参加をお待ちしております。※日程、内容等詳細は8月号に掲載予定です。

第57回 大村益次郎ゆかりの地 ～普門寺～

普門寺(山口市白石)の境内にある観音堂は、一時、大村益次郎が起居した建物と伝えられています。眼下にはなだらかな山々に囲まれた山口盆地が広がっています。

益次郎は、吉敷郡鑄銭司村(現・山口市鑄銭司)の村医者から身を起し兵学者へと転身。今から150年ほど前、慶応2年(1866)に起きた四境戦争(第二次長州征討)では、石州口(島根県境)へと赴き、そこで指揮を執り、幕府軍を撃破。長州藩を勝利へと導きました。

この時、彼は42歳。緻密な作戦を立て、作戦図を描き、時間割を組むなどして、長州軍を統率します。こうした益次郎の行動は、全て学問による裏付けがあったものと思われる。その基礎が築かれたのが、弘化3年(1846)、当時22歳の益次郎が入門した、大坂(現・大阪市)の医学・蘭学塾、緒方洪庵の主宰する「適塾」です。

全国各地から俊才が集まるこの塾で、まず、蘭学の基礎を身に付けた彼を待っていたのが「会読」でした。

ここでは各級が10から15人ほどに分けられ、その中で上級生が会頭となります。会読の日は、くじで席順が決められ1番目の者が、オランダ語の原文を数行ずつ解説していきます。それが終わると2番目の者が質問をし、曖昧な点があれば皆で討論をする。これを順次進めていきます。

会読が終わると、会頭は、自分の割り当てられた箇所を正しく解した者には△を、討論に勝った者には○を、負

けた者には●を付けました。

こうして、各級で3カ月間首席であれば進級できます。ここで益次郎は、次第に頭角を現し、ついには塾のトップである塾頭まで上り詰め、後には数多くの兵学書を翻訳するなど、医学の他にも幅広い知識を習得していったのでした。

時は過ぎ、文久3年(1863)、39歳になった彼は、普門寺の境内で塾を開き、門人たちを集め兵学を教授しました。そこで取り入れたのが、適塾での採点方法でした。

今でも見ることができるその会読採点表には、○、そして●の代わりに黒の点がふってあり、門人たちが討論を交わした様子をうかがうことができます。

また、そこには、松下村塾出身で、維新後はロンドンに留学。帰国後は東京職工学校(東京工業大学の源流)の初代校長となった正木退蔵や、同じく松下村塾出身で、慶応3年(1867)にアメリカ、オランダに留学。維新後は鉄道敷設に尽力した飯田俊徳(吉次郎)らの名前も見えます。

こうして、幕末の山口では、益次郎によって、適塾さながらのレベルの高い授業が行われ、それはやがて長州藩の勝利へと結びついたのでした。そして、近代日本の基礎を築く優秀な人材も輩出したのでした。



普門寺より山口盆地を望む(白石)

食推の健康食のおススメ
男性料理教室を開催しました

1月26日(土)、交流センター調理室において、男性を対象とした料理教室を開催しました。野菜たっぷりの料理を皆さんで調理しました。当日のメニューの中から「ぶりの照り焼き 梅風味」のレシピを紹介いたします。ぜひ作ってみてくださいね。



食推だよりその32
温塩レシピ作ってませんか?
～減塩推進事業～

ぶりの血合いには鉄分が含まれます



ぶりの照り焼き 梅風味---

【材料】 (4人分)

- ぶり 4切れ
- ねり梅 小さじ2
- みりん 大さじ2
- A 酒 大さじ2
- 砂糖 小さじ1
- しょうゆ 小さじ2
- 長ねぎ 60g
- サラダ油 小さじ2
- 小麦粉 小さじ2
- ゆず(ゆずぎち) 2/3個

【作り方】

- ①Aを混ぜ合わせ、ぶりを20分程度漬け込む。
- ②長ねぎは斜め切りにする。
- ③フライパンにサラダ油を熱し、①のぶりに小麦粉を薄くまぶして弱火でじっくり両面焼く。同時にフライパンの空いたところで長ねぎを焼き、焼けたら一旦取り出しておく。
- ④フライパンにAの漬け汁を入れて、照りが出るまで両面を焼きながら絡める。
- ⑤皿にぶりを盛りつけ、長ねぎとくし型に切ったゆずを添える。

☆栄養(1人分) カロリー 223kcal 鉄分1.1mg 塩分0.7g